



通信

みんなをつなぐ情報誌

2025 年 10 月号 No. 360

編集・発行/いむた小児科

〒830-0037 久留米市諏訪野町 2284

☎ 0942-30-7611 fax 0942- 30-7612

CONTENTS

- ☆インフルエンザに備えよう
 - ☆咳の様子に注意しよう／こどもの偏食
 - ☆野外で遊ぼう(吉野ヶ里歴史公園で遊ぶ)
 - ☆今月の診療予定／予防接種
- ホームページ: <https://www.imuta.com>

(10月のカレンダー)

日	月	火	水	木	金	土
			1 ★	2 ★	3 BCG	4
5 休	6	7 ★	8 ★	9 ★	10 BCG	11
12 休	13 休	14 ★	15 ★	16 -	17 BCG	18
19 当	20	21 -	22 ★	23 ★	24 BCG	25
26 休	27	28 ★	29 ★	30 ★	31 -	

★印(予防接種・乳幼児健診)

10月の当番医

5日/善道寺こどもクリニック(善道寺)
 12日/さかた小児科クリニック(御井嶺崎)
 13日/かとう小児科(大善寺)
 19日/いむた小児科(諏訪野)
 26日/長井小児科医院(天神)

(夜間休日: 聖マリア病院)
 #8000 (小児救急医療電話相談)

当院は診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。 正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。

【医療情報取得加算】

初診・再診 1点
 ※再診は3か月に1回



今月のお知らせ

- ◆19日(日)は当番医のため平常通りの時間帯で診療いたします。
- ◆16日(木)、21日(火)は健診出務のため、午後の診察は15時半頃(院長戻り次第)からの開始となります。ご了承ください。
- ◆乳幼児健診は火・水・木曜と、土曜の午前中(10月は4、18日)に行います。ご希望の方は予約をお願いします。
- ◆駐車場は医院横に4台、医院東側に広い駐車場があります。医院前が混雑の際はこちらをご利用ください。

インフルエンザに備えよう

インフルエンザは基本的に冬の疾患ですが、今年は9月から散発的に流行して、一部地域では学級閉鎖の措置もあるようです。今年はコロナと合わせてインフルエンザも早めの予防対策が必要かと思われます。小児のインフルエンザで注意したいのが、合併症の併発。脳炎・脳症、中耳炎、心筋炎、急性気管支炎、けいれん等を起こすことがあります。

なかでも急な発熱の後にけいれんや意識障害を起こして、脳炎・脳症になるケースは早期の対応が必要です。年間数百人が発症し、1歳前後の乳幼児に集中。発症は熱が出た後、数時間から1日以内が多いので注意してください。



予防接種・健診

インフルエンザ

予防接種のお知らせ

今年もインフルエンザが流行する季節が近づいてきました。早めに接種して備えましょう。

接種…10月1日(水)～

母子手帳をお持ちください。

※事前予約制

※東振協や助成利用の方は予約時にお知らせください。

注射(不活化ワクチン)

料金…1回4000円

6か月～2回
 13歳～1回

フルミスト点鼻(生ワクチン)

料金…1回8000円

2～18歳1回

※点鼻の接種は12月初旬まで



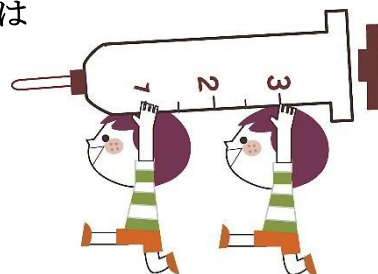
予防対策は

ワクチン接種が基本

一般的に流行するウイルス株はA型とB型で、今のワクチンはそのうち三種類の株を含んでいます。免疫機能が現れるのには約2週間必要です。小児は2回、鼻に噴霧するフルミストは1回接種です。

2～12歳は1人当たりの接種費用が8000円と変わらないので、注射が苦手な子にはフルミストもおすすめです。

でも、鼻に何かを入られることが怖い子もいます。接種前に、どんなことをするのか、痛くないものだよ、ということの説明しておく、子どもの安心にもつながりやすいです。



INFORMATION

いむた小児科

院長 伊牟田富佐恵
 (小児科専門医認定医)

診療受付: 月曜～土曜
 8:30～12:00、14:00～17:30
 土曜 ～17:00

※予防接種のある日は
 午後3時頃からの診療です。
 休診日: 日曜・祝祭日



一事前にご予約ください

☆予防接種
 毎週、火・水・木・金
 (14:00～15:00に実施)

☆乳幼児健診(個別)
 毎週、火・水・木
 土曜も月2回程行っています

他の日時もご相談ください。



これらを踏まえて、最も効果的な接種時期はいつかを判断することが大切です。免疫効果は5か月程度(フルミストは約1年)持続すると言われますので、流行前にしっかりと免疫をつけましょう。

乳幼児の感染予防には家庭内での感染を防ぐことが重要です。家族は外出時のマスクの着用、手洗いやうがいを実施して、ウイルスを家庭内に持ち込まないようにしましょう。

もし、インフルエンザに罹ってしまったら、抗インフルエンザ薬での治療が望めます。早期の受診で対応してください。